

科目名	総合演習Ⅳ C					単位	2.0
担当教員	中神 洋子						
授業形態	演習	開講期間	後期	配当年次	4	授業番号	3261

●授業のテーマ

1. 福祉とは何か？各自の研究テーマを深め「卒論」として仕上げる中で考える。効果的なプレゼンテーション能力を身につけ、研究発表会（S学会）や卒論発表の場で実践する。
2. グループワークの総まとめを、形に残し、次の世代に続けていくための工夫をする。

●到達目標

- 1) 様々な問題の背景に心を配り、分析することができるようになる。
- 2) 困難な問題に出会っても、それを乗り越える方法や解決する力の向上を実感する。
- 3) 目標を定め、そこに至るまでのプロセスを大切にし、あるいは目的達成の喜びを味わえる。
- 4) 仲間やまわりの人たちの支えなどを改めて知ることができる。
- 5) 論文を完成させる過程を通して、大学での4年間の様々な学びを終大成することができる。

●学習内容(授業概要)

夏休み期間中完成した卒論のDraftをもとに、後期は各自の研究テーマの総仕上げに力を注ぐ。演習仲間とのグループ討論等も参考にし、卒論の形にまとめ上げてゆく。又、グループ研究のテーマを、同世代への広がりや次の世代への継続を念頭におきつつ何らかの形にまとめる。ゼミに対する各自のオーナーシップ感覚を大切にし、何ごとにも（例：実習、サークル活動、ボランティア活動、国内外でのワークショップ、講演会、スタディーツアー参加、国家試験受験準備、そして就職活動など）積極的にとりくむ姿勢を継続し、同朋大学社会福祉学部での最終学年の最終半期を有意義に過ごすことを心がける。

●学習内容(授業計画)

< 卒業論文 ゼミのグループワーク >

- | | |
|---------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 論文Draft内容の発表 | |
| 2. 論文Draftの課題と議論 | |
| 3. " | グループ研究のまとめ①目的、
 全体構成 |
| 4. Final Draftの提出 | グループ研究のまとめ②
 内容の検討 |
| 5. 全体構成の確認 | グループ研究のまとめ③
 まとめ方の形式と役割分担 |
| 6. 内容についてのコメント
(論理的な流れは?) | グループ研究のまとめ④
 各ユニットのDraftの議論 |
| 7. 内容についてのコメント
(タイトルとの整合性は?) | グループ研究のまとめ⑤
 序章と終章 |
| 8. 文章についてのコメント | ※卒業アルバム、寄せ書きの方
 針とデザインなどの話し合い |
| 9. 文章最終チェック | グループ研究のまとめ⑥
 表紙などのデザイン |
| 10. 添付資料、データなど
の再チェック | |
| 11. 清書 | |
| 12. 提出 | |
| 13. 卒論発表レジュメ作成 | グループ研究のまとめ⑦ |

| 印刷、製本、配布など

14. 卒論発表のリハーサル（効果的なプレゼンテーション）

15. 4年間のふりかえりを含めた総括と今後の抱負

番外①個人面接（最低、のべで30回予定：各回1人あたり1時間～）

②ゼミ卒業旅行

③3年ゼミ生や卒業生たちとの交流・合同ゼミ etc

●準備学習・事後学習の内容

準備：テーマ周辺の学習をおこなっておく。

事後：テーマに関する議論のポイントをまとめ、コメントを書く。

●成績評価方法・基準

平常点（授業への積極的な参加、レポート、研究発表等）（60%）と課題レポート（40%）。

課題レポートは、卒論を書いた場合は、免除され、卒論に対するとり組み姿勢やその過程を評価の対象とする。

●テキスト（必携）

授業時に指示する

●参考文献／その他

適宜指示する

●履修上の注意

特になし